

## 全国老施協 LIFE 研修 実施要領

全国老施協では、令和3年度介護報酬改定における LIFE の普及啓発の一環として、LIFE に関する研修プログラム作成し、都道府県・指定都市老施協・デイ協（以下、「県老施協等」という）での研修開催を支援することで、より多くの施設の LIFE への取り組みに資するべく、本研修要領を策定する。

### 1. 目的

令和3年度介護報酬改定への対応として LIFE の普及啓発と取り組み支援を行う。

### 2. 実施期間

令和3年11月から令和4年3月末

### 3. 目標

受講を望む会員施設が参加できるよう47都道府県での研修開催を目指す。

### 4. 実施内容

#### (1) 研修のプログラム

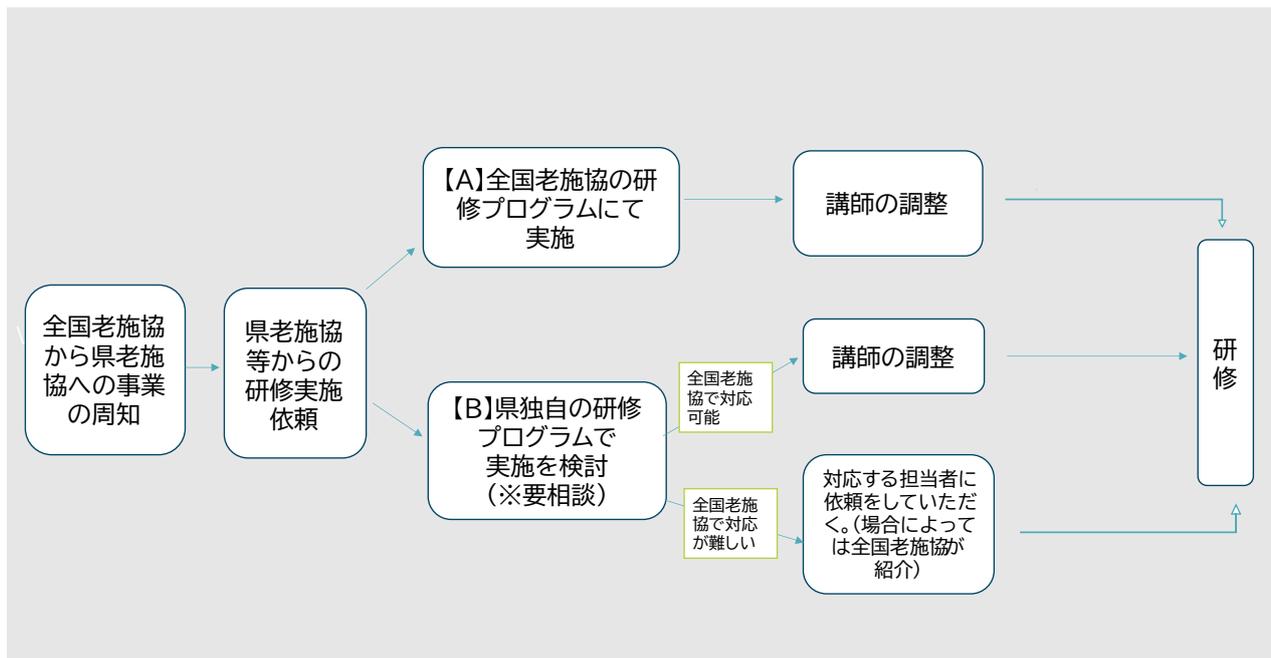
Web 研修（ライブ配信）のプログラムを下記のとおり設定する。

※ ただし、県老施協等にて独自の LIFE の研修内容を検討している場合は、全国老施協と県老施協等で研修内容の調整を行うこととする。

#### LIFE 研修プログラム(案)

時間	講演内容	講師
30分	1. LIFE の導入背景・これからの介護現場のあり方 ①LIFE 導入背景、目的 ②LIFE 活用のポイント、流れ ③LIFE 関連加算について	全国老施協役員等
60分	2. 実践事例(LIFE 導入のプロセス) 2-1 特別養護老人ホームのスタンダード事例 ①体制やネットワーク等テクノロジー導入の状況 ②LIFE や関連機器に関する情報共有 2-2 通所介護事業所のスタンダード事例 ①体制やネットワーク等テクノロジー導入の状況 ②LIFE や関連機器に関する情報共有 2-3 LIFE 関連加算(科学的介護推進体制加算) 2-4 フィードバックについて 2-5 自施設での取り組み	全国老施協 LIFE 講師
30分	3. 質疑応答	全国老施協役員等 全国老施協 LIFE 講師

## (2) 研修までのフロー



(参考) 県老施協等独自の研修プログラムで講師等を検討する場合のイメージ

### 1. LIFE の概要について

- ・ 全国老施協役員等

### 2. LIFE 本体(システム)へのデータ入力等に関すること

- ・ 厚生労働省又は LIFE ヘルプデスク

### 3. LIFE システムに連動する「介護記録ソフト」に関すること

- ・ 大手ベンダー (NDソフト or ワイズマン) 又は施設と連携してシステム開発に取り組まれた方

### 4. LIFE 関連加算に対する解釈や評価基準

#### (1) 全体的な内容

- ・ 加算取得の要件や実地指導のポイント …各都道府県の実地指導の担当課
- ・ 加算の内容や制度について …全国老施協役員等
- ・ 現場視点での注意点 …全国老施協役員等

#### (2) 専門分野 (LIFE 関連加算で用いられる各加算の評価尺度の考え方など)

- ・ ケアの質の向上に向けた LIFE 利活用の手引き WG 委員や評価指標に詳しい専門家 (予定)

### 5. 施設の LIFE 実践事例 「加算算定～データ提出」、「フィードバック～PDCA」

- ・ 全国老施協 LIFE 講師

### (3) 研修にかかる業務分掌

研修にかかる業務分掌については、次頁の表のとおりとする。表に記載のない業務が生じた場合、全国老施協と県老施協等で調整を行う。

研修にかかる業務分掌

時期	全国老施協	県老施協等
1～2 か月前	○講師の調整	○講師派遣依頼
1 か月前 まで	○講師の決定	○参加者への「事前アンケート」実施 →全国老施協に結果を提供 (3週間前を目途)
1週間前 まで	○全国老施協 LIFE 講師との事前打合せ 【打合せ内容】 ・研修内容の確認(対象者等) ・事前アンケートの精査 ・講演内容への反映 ・その他	○必要に応じて講師との連絡調整
研修当日		○研修会の運営・進行等 ○当日の「質疑応答」を記録 →全国老施協へ質疑応答内容を提供 ○参加者への「事後アンケート」実施 →全国老施協に結果を提供
終了後	○当日の質疑応答内容の精査 →質疑応答を全国老施協 HP へ掲載 ○事後アンケートの精査 ○他の講師への研修内容の共有	○謝金支払い等